

情報セキュリティ 10大脅威2022

～個人向け～



| 順位 | 脅威 | 昨年順位 | 昨年比較 |
|-----|-----------------------------|------|------|
| 1位 | フィッシングによる個人情報等の詐取 | 2 | ↑ |
| 2位 | ネット上の誹謗・中傷・デマ | 3 | ↑ |
| 3位 | メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭請求 | 4 | ↑ |
| 4位 | クレジットカード情報の不正利用 | 5 | ↑ |
| 5位 | スマホ決済の不正利用 | 1 | ↓ |
| 6位 | 偽警告によるインターネット詐欺 | 8 | ↑ |
| 7位 | 不正アプリによるスマートフォン利用者への被害 | 9 | ↑ |
| 8位 | インターネット上のサービスからの個人情報の窃取 | 7 | ↓ |
| 9位 | インターネットバンキングの不正利用 | 6 | ↓ |
| 10位 | インターネット上のサービスへの不正ログイン | 10 | — |

「情報セキュリティ10大脅威」公開:独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

「情報セキュリティ10大脅威2022」とは…

IPAが公開している、その年の状況等からセキュリティ脅威を順位付けしたもの。

順位が上位のものには特に注意をしてください!

第1位「フィッシングによる個人情報等詐取」



公的機関・有名企業を騙った電子メール・ショートメッセージを送信し、フィッシングサイトに誘導させ、個人情報を盗み取る手口です。



ログインはブックマークした公式のサイトから

第2位「ネット上の誹謗・中傷・デマ」



安易に行った投稿が犯罪のきっかけを作るだけではなく、自分自身が加害者になってしまう可能性があります。



発信する前に、公開しても問題がない情報であるかを確認する

一度インターネット上に公開された情報を完全に削除することはできません。

第3位「メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求」



「ハッカーを名乗る人物からのメールがきた」「裸の動画をバラまかれなければ暗号資産を支払えと脅される」
このような脅迫メールが来ても慌てない!



相手の要求に応じず無視をする。

脅迫メール内にパスワード等が記載されている場合は、早急に変更しましょう。